

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

|        |   |    |            |
|--------|---|----|------------|
| 代表者氏名  | 土肥伊都子   | 所属 | 神戸松蔭女子学院大学 |
| 研究会等名称 | 公益社団法人日本心理学会 ジェンダー研究会   |    |            |
| 成果概要   | <p>1) 参加人数</p> <p>会員 14名 (うち認定心理士 1名)<br/>非会員 2名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>日本心理学会第82回大会の第3日目の2018年9月27日、9:20~11:20に、公募シンポジウム「セックス/ジェンダー概念の再吟味 ―豊かなジェンダー研究に向けて―」を開き、公開研究集会とした。</p> <p>○公開研究集会の目的<br/>従来、セックスとジェンダーは、前者が生物的に規定されてきた性、後者が社会的に規定された性として、対比づけられてきた。しかしながら、それらの概念の内容は、心理学内外の研究成果により変化・発展しつつあり、研究者によって多様な考え方がなされるようになってきた。こうした流れを踏まえ、今後、セックス/ジェンダーという概念をどのように捉え、研究に反映させるべきであるかについて議論することを目的とした。</p> <p>○公開研究集会の実施内容・成果・将来計画<br/>まず、企画者の一人である宇井美代子氏から、セックスとジェンダーの概念の捉え方について認識を深めることの意義が示された。<br/>青野篤子氏からは、セックスとジェンダーの両概念ともに、男女の二分法に縛られていることや、「セックスはジェンダーである」という Butler(1990)の言葉を引用して、生物としての性を把握する際にも社会的定義づけの意図が関わっていることなどが指摘された。<br/>組織研究の中でジェンダーにも着目してきた坂田桐子氏からは、自身が編集した「心理学評論」(2017)に寄稿された論文を概観し、性差の有無を追求することや、生物的要因と社会的要因に優劣をつけることなどが無意味であることや、性がいずれから規定されようが性により人々の幸福感を損ねるのであれば、それこそが問題として重視すべきであるという議論が紹介された。<br/>医療人類学者の柘植あづみ氏からは、生殖技術や医療が発達を続ける中では、性分化疾患に関する学問においてもジェンダーバイアスが存在することが問題視されるようになっており、たとえば卵子よりも精子が重視され研究対象となるなどの偏りがあることなどが紹介された。<br/>以上、セックス/ジェンダー概念の捉え方の多様性が見られるものの、指定討論者の福富護氏からの問題提起に対する話題提供者の回答から、ジェンダー概念を従来のように記述的に定義することは困難であるが、ジェンダー概念は、セックスをどう捉えるか(二分的に考えるのか、多様性をみとめるのか等)を含めた視点あるいは信念体系と考えられるという一つの合意点に達した。今後、様々な学問領域の研究者たちが、新たな視点をもってジェンダーの理論的、実践的研究を進める一助になることが期待できるシンポジウムとなった。</p> |    |            |

## 研究集会参加者リスト

| 〈研究会名〉                 |       |            |    |           |
|------------------------|-------|------------|----|-----------|
| 日本心理学会ジェンダー研究会         |       |            |    |           |
| 研究集会開催日： 2018年9月27日(木) |       |            |    |           |
|                        | 氏名    | 所属         | 会員 | 認定<br>心理士 |
| 1                      | 宇井美代子 | 玉川大学       | ○  |           |
| 2                      | 青野篤子  | 福山大学       | ○  | ○         |
| 3                      | 福富 護  | 元 東京学芸大学   |    |           |
| 4                      | 坂田桐子  | 広島大学       | ○  |           |
| 5                      | 柘植あづみ | 明治学院大学     |    |           |
| 6                      | 上野淳子  | 四天王寺大学     | ○  |           |
| 7                      | 土肥伊都子 | 神戸松蔭女子学院大学 | ○  |           |
| 8                      | 井ノ崎敦子 | 徳島大学       | ○  |           |
| 9                      | 伊藤裕子  | 文京学院大学     | ○  |           |
| 10                     | 森永康子  | 広島大学       | ○  |           |
| 11                     | 櫻坂英子  | 駿河台大学      | ○  |           |
| 12                     | 神前裕子  | 聖心女子大学     | ○  |           |
| 13                     | 永久ひさ子 | 文京学院大学     | ○  |           |
| 14                     | 増井秀樹  | 京都大学       | ○  |           |
| 15                     | 滑田明暢  | 静岡大学       | ○  |           |
| 16                     | 澤田忠幸  | 石川県立大学     | ○  |           |
| 17                     | 渋谷明子  | 創価大学       | ○  |           |
| 18                     |       |            |    |           |
| 19                     |       |            |    |           |
| 20                     |       |            |    |           |
| 21                     |       |            |    |           |
| 22                     |       |            |    |           |
| 23                     |       |            |    |           |
| 24                     |       |            |    |           |
| 25                     |       |            |    |           |

(様式5)

2018年10 月10 日

日本心理学会研究会      2018    年度会計報告書

研究会名称    公益社団法人日本心理学会    ジェンダー研究会

研究会番号    研   18007

助成金額      ¥30,000

| 年 月 日      | 項 目                    | 金 額     |
|------------|------------------------|---------|
| 2018年9月27日 | シンポジウム話題提供者（柘植あづみ） 旅費  | ¥22,400 |
| 2018年9月27日 | シンポジウム話題提供者（柘植あづみ） 宿泊費 | ¥8,490  |
| 2018年9月27日 | 日本心理学会第82回大会シンポジウム謝礼   | ¥10,000 |
| 支出合計       |                        | ¥40,890 |